

<http://www.tr-net.gr.jp>



ネット通信

VOL.58

● ドラゴンの年はじまります

未曾有の大震災。国内外に多発する豪雨災害。地球激震・温暖化豪雨時代到来と危機つのがった昨年は、防災・環境保全・福祉・次世代育成をミッションとして流域連携活動を開始したTRネットの、創設20周年でもありました。

この一年、私たちは2月の＜総合治水対策30周年記念シンポ＞支援に始まり、5月の＜TRネット創設20周年シンポ＞、9月の＜RAC全国大会＞開催支援、11月の＜ドラゴンゾーンの危機シンポ＞開催と記念の年の大仕事をこなし、微力ながら震災復興支援にも参加。防災減災啓発分野では、多摩川・鶴見川共通氾濫域である＜ドラゴンゾーン＞や＜源流保水の森＞への流域視野での注目誘導など、温暖化豪雨未来の流域を見据えた工夫も始めることができました。

そして暮れ12月。世界最高低燃費を実現したHVエコ・コンパクトカーAQUA発売にともない、鶴見川流域を含む全国50の水辺で市民参加型環境保全イベント等を提供するトヨタの社会貢献型プロモーション事業＜AQUA SOCIAL FES!＞との連携もスタート。足元の水辺から、水系・流域を走りなおすAQUAと呼応して、水辺環境活動に市民をいざない環境保全の成果もめざす新型プロモーションを、専門組織として応援します。6月、ブラジル・リオで開催される地球サミット（Rio+20）のテーマである＜持続可能な緑の経済（sustainable green economy）＞も、視界に入ってくることでしょう。

辰（＝ドラゴン）はユーラシア水辺の最高神。限らない恵みと容赦ない脅威。生命圏水循環の象徴です。そのドラゴンたちと賢明に共存する持続可能な未来への道を、市民・学校・企業・行政とのさらなる連携を工夫しつつ、また一年、足元のバクのかたさの流域に開いてゆきます。ドラゴンの年スタートです。ご指導、ご支援を、よろしくお願いします。

npoTRネット代表理事 岸 由二

AQUA SOCIAL FES!! 2012

3月24日(土) 鴨居～綱島ウォーキング募集中

HPからお申し込み下さい [アクアソーシャルフェス2012 TOYOTA](#)

イベント情報

npoTRネットの鶴見川流域学習支援 プロジェクト

夢 交 流 会 2 0 1 2

鶴見川流域で学習を行った小学生の発表会などを行います。ぜひご参加ください。

1. 開催日時：平成24年2月11日(土) 9:30～14:50
 2. 会 場：慶應義塾大学 日吉キャンパス 藤原洋記念ホール
 3. 主 催：特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク
連携・鶴見川流域ネットワーク／綱島バリケン島プロジェクト
- 詳しくはTRネットのホームページをご覧ください。 [tr-net](#)





1/7 (土)・14 (土)

富士見 2012

つるみ川新春ウォーク

を開催しました

流域ツーリズム恒例企画・つるみ川新春富士見ウォーク 2012 が開催され、総勢（スタッフ含む）1 日目 129 名・2 日目 128 名が、新春の鶴見川を歩きました。今年のテーマは「保水・減災」。源流保水の森や川和遊水地・鶴見川多目的遊水地など、各サブネットメンバーからなるリバーガイドや河川管理者が、それぞれの活動拠点で、参加者にガイドを行いました。1/7 は富士山が顔を出し、カワセミは両日とも登場。TR ネット参加団体による甘酒や鍋の歓待企画も大好評。2012 年、あらためて流域連携の絆を確認し、よいスタートをきることができました。（ツーリズム P J 事務局・伊藤）



1/7 恩廻公園調節池



1/14 鶴見川流域センター



サブネットより



1/7午前 源流谷戸池公園→恩廻公園調節池

風の丘公園では1000haに及ぶ保水の森を眺望、上小山田みつやせせらぎ公園の調節池では町田市上下水道部、鰐橋では東京都南多摩東部建設事務所の方に拠点の解説をしていただきました。参道橋付近からはバックに富士山が見えました。

（源流ネットワーク 深見）

1/7午後 恩廻公園調節池→鴨居

1 日目の後半、鉄町高水敷、市ヶ尾水辺の広場のガイドと川和遊水地での説明。青葉区区民広場で甘酒接待。日の暮れるなかの終点鴨居高水敷では、焚き火と焼き芋、竹の酒等の接待で大歓迎をしてくださいました。

（谷本川流域ネットワーク 渡利）

1/14午前(1)

鴨居→鶴見川流域センター

曇りがちで風の冷たい中、富士山が見えないため記念撮影無しでスタートし、左岸高水敷・川向堰・小机城址及び多目的遊水池等の案内の後、途中からは薄陽の恵みも浴びながら流域センターに到着しました。

（中流ネットワーク 南）

1/14午前(2)

鶴見川流域センター→網島

スタートする前は今回の参加者はどんな方だろうと毎回ドキドキしますが、今年も熱心な方が多く、説明によく耳を傾けてくださいました。初めての方と毎年参加の方、双方に満足していただけるよう、マンネリにならないようにしてゆきたいです。

（カワウネットワーク 亀田）

1/14午後

網島→生麦河口干潟

今年は網島から駒岡までは右岸を歩き、一昨年春に完成した防災船着場では、いざというときここが役立つことと昨年秋のボートイベントの紹介も行いました。終着地河口干潟では、灯笼と潮汁などで心から暖まって頂き、全行程を無事終了しました。

（下流ネット・鶴見 大澤）

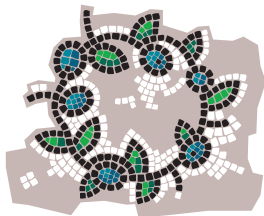
11/23 (祝) 流域・丘陵フォーラム

「鶴見川・多摩川・二ヶ領用水共通氾濫域～ドラゴンゾーンの危機」 ～気候変動・自然災害適応型都市を目指して～ を開催しました

2011年の流域・丘陵フォーラムは、東日本大震災も踏まえて、TRネットが従来から指摘してきた、鶴見川下流域左岸の多摩川・鶴見川に挟まれた沖積低地（ドラゴンゾーン）での大水害への対応をテーマとしました。まず、岸代表理事による基調講演が行われ、低地における「気候変動・自然災害適応型都市」として高台を造成して街をつくるbasin communityの提案がなされました。続いて、慶應義塾大学・日吉丸の会による減災の取組の報告が行われ、「洪水ハザードマップ」「まるごとまちごとハザードマップ」を利用しながら鶴見区内を歩いた結果、市民の目線から感じた、ハザードマップに対する疑問が提示されました。これらを受けて、ハザードマップを作成している株式会社東京建設コンサルタントの幸部長より、「ハザードマップの読み方について」の講演をいただき、さらに「ドラゴンゾーンの危機にどう対応するか」をテーマに岸代表理事との意見交換が行われ、ハザードマップについてより深く理解することができました。

地震・津波の話題に集中しがちですが、足元には水害の「危機」があり、源流域での「保水」と合わせて、下流域での「減災」への取組の必要性を再認識しました。

※後日、フォーラムの内容は報告書として発刊する予定です。



バクの流域子ども探険隊活動報告

11/26 (土) 防災デイキャンプ&クリーンアップ作戦

鶴見川流域でも、いつ大きな地震が来るかわかりません。いざというときのために薪を使って、空き缶でお米を炊く練習を綱島の川辺で実施しました。メンバーみんなで力を合わせ、薪に火をつけ、おいしいご飯を炊きました。ほかに木の枝の先にマシュマロやウイナーを刺して火にあぶって食べた感動は、サバイバルならではの体験です。食事の後は綱島バリケン島のクリーンアップ作戦に参加して、バクの流域をピカピカにしました。

12/3 (土) 冬のネイチャークラフト・流域リース作り

鶴見川流域センターの工作イベントに参加しました。身の回りにある植物を材料に世界に1つだけのオリジナルクリスマスリースを作成しました。流域の松ぼっくりや綿、ローズマリーにユリノキやナンキンハゼの木の实、他にもリボンやビーズなどを使いとっても素敵なリースが完成しました。



みんなで火おこし中



オリジナルリース完成

財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団主催の「トム・ソーヤスクール企画コンテスト」でバクの流域子ども探険隊は平成23年度一般部門で優秀賞に選ばれました。詳細はHPで。「第10回トム・ソーヤスクール」で検索してください。

11/13(日) いるか丘陵とことんめぐり

鶴見川源流ネットワーク、NPO法人鶴見川流域ネットワーク、(財) かながわトラストみどり財団の共催、町田市、(公財) 東京都公園協会、鶴見川流域水協議会の後援をいただいて、「いるか丘陵とことん巡り2011～鶴見川源流編ⅩⅢ」を開催いたしました。

総勢37名の参加の中、町田市小山田桜台をスタート。途中の風の丘公園では、北部丘陵の雄大な緑を俯瞰しながら、目的地の鶴見川保水の森の説明、みつやせせらぎ公園調整池・丸池、泉のひろばを経て、鶴見川保水の森へと入りました。唐木田配水塔からの期待の眺望はあいにくかすみがかかり房総半島は見ることはできませんでしたが、パネル写真を使って説明を行いました。午後は、鶴見川上流端である新橋経由で小山田緑地のみはらし広場に向かい、同緑地のセンター長のご挨拶をいただいて閉会、解散しました。

NPO法人鶴見川源流ネットワーク



唐木田配水塔からの河口方面の展望を説明



唐木田配水塔付近の鶴見川河口方面展望地



11/19(土)バスツアー「鶴見川源流保水の森探訪」

有料イベント「鶴見川源流保水の森探訪」を実施しました。町田市との契約である協働事業の一環。先のタケノコ狩りイベントと同様にNPO法人自らの負担で実施したものです。集客アップのため、バスツアー形式とし、地元野菜のお土産を企画の目玉としました。

町田市民および流域市民を対象に広報と口コミで集客しましたが、とことん巡りから1週間も経ていないためか、定員40名に対して20名。しかも当日は雨。しかし、TRネットを応援してくださる下流からの参加者で、なんとか盛り上げることができました。雨天プログラムは、懐かしい映画「われら鶴見川流域人」の上映。貸切バスをフル活用して主要拠点を回るミニミニウォークも実行。応援感謝。

NPO法人鶴見川源流ネットワーク

おいせ茶屋大繁盛!!



11/4～6 和光大学祭 ～人がつながる場所～

和光大学で大学祭が行われました。私達かわ道楽は毎年恒例のおいせ茶屋という模擬店を出店しました。かわ道楽はかわという自然保護とつきあう面と道楽者という何でも楽しむ2つの面があります。大学祭は道楽者が1番力を発揮する場所です。

私達は都市部での自然保護活動において地元の人との連携が不可欠と考えています。なぜかと言うと住宅街で見知らぬ若者達が活動するのは住民にとっては怖がられかねないからで、地元の人と顔見知りの関係を作るのは重要な事です。大学祭は地元の方々と交流する場になっています。

2011年の大学祭には岡上西町会の方以外にも地元の市民団体である「古川公園をきれいにする会」の方や、TRネットの方等いろいろな方々がいらっしゃいました。岡上西町会の方といっしょに参加した中国人の留学生は、今ではかわ道楽の活動に遊びに来てくれます。大学祭は人がつながる大切な場所になっています。

和光大学・かわ道楽 林 大地

11/23 (祝) 青葉区民活動支援センター祭り

昨年のセンター祭りに、「あおばく川を楽しむ会」、「いかだで遊ぼう谷本川 2011」の展示と、鶴見川水族館と身近な野鳥クイズで参加しました。一時会場が満員状態になるほどの盛況でした。前日岩川で採取したアブラハヤ、オイカワ、モツゴなどの展示に人気が集まりましたが、とりわけアメリカザリガニとカメは人気の的でした。野鳥クイズには 70 人の方が挑戦してくださり、鶴見川流域の豊かな生きものについて学んでいただきました。

あおばく川を楽しむ会 渡利 博



11/12 (土) デイキャンプin鴨居 開催

晩秋の風もなく暖かい日差しに恵まれたこの日、鴨居の鴨池橋下河川敷で『デイキャンプ in 鴨居』（川辺の1日キャンプ体験）が行なわれました。子ども21名、保護者13名、スタッフ15名 総勢49名の参加でした。

皆で周辺のお掃除をした後、キャンプファイアーの点火・テント張り・リヤカーでの水汲みをしました。それから川辺の探検ウォークに出発し、知らない径を通ったり草木や鯉の観察、寄洲での石投げをしました。会場に戻ってから焼き芋や虹鱒の串焼き・竹筒ご飯、それにおいしい豚汁で昼食をお腹一杯食べました。

食後一休みしてからクズの茎で作った輪投げやドングリ笛・竹トンボ作り、リヤカーに乗ったり運んだりの遊びを楽しみました。

今年からスタッフが何でも準備し過ぎないようにし、家族でキャンプに行った時のように、出来るだけ子ども達自身にもやらせることにしたやり方は大成功でした。子どもも大人も川辺の広い空間でのびのび過ごした大満足の1日でした。

みどり・川と風の会 南 長治郎

当日の様子はHP <みどり川と風> ←検索 でご覧下さい。



10/22 (火) 港北区長のふれあいトーク開催

昨年、TR ネット (npotR ネットとカワウネットワーク) に続いて「鶴見川舟運復活プロジェクト」との「区長の出前ふれあいトーク」が新羽町・中之久保会館で開催されました。

本グループは川舟を復活させ、流域の自然や伝統文化を子どもたちや地域の方に伝えようとしています。当日は小川区長にも「たちばな」（自作の和船の名称）に乗船して頂く予定でしたが、雨のため、後日となりました。グループからは活動経過や方向性について報告し、区長からは「区として鶴見川を生かした魅力あるまちづくり計画を策定中」とのご発言があり、有意義なひとときでした。

鶴見川舟運復活プロジェクト 長谷川武明



2011.10.22

TRネットのわくわく 移動水族館

11/13（日）野村不動産とタイアップ

早淵川合流点、上流三角地点は、川にせり出し、映画タイタニックの船首のような気分満天！絶景大パノラマを満喫できる散策者のお気に入り拠点のひとつです。バリケンロードプロジェクトが河川敷再生事業を実施している対岸であり、野鳥が舞い、夕焼けに浮き出る白い富士が描いたように望める場所です。

この地に野村不動産が鶴見川の魅力を活かしたマンション、プラウド綱島上町を建設することになり、野村不動産の協力を得て、水族館イベントを実施しました。近隣や遠方からもファミリー層を中心に大勢の皆様が参加し、この地の魅力を共有できたと思います。

11/20（日）「ヨコハマ3R 夢（スリム）地域ふれあいフェスタ」に水族館出展

昨年に引き続き、横浜市資源循環局港北事務所で開催された環境を考えるイベントに、水族館を出展。昨年までの「G30 地域ふれあいフェスタ」が、更なるごみ減量と脱温暖化に取り組むためにリニューアルされたイベントで、今年は「鶴見川流域センター」として参加しました。

今年はお隣が「港北水再生センター」でしたので、下水道による鶴見川の水質改善と生きものの賑わいについて、総合的な紹介をすることができました。

「資源循環局港北事務所」と「港北水再生センター」は隣接する施設で、「鶴見川流域センター」も含めた3施設で連携イベントができればとのお話もいただいております。今後の展開に期待です。



早淵川合流部高水敷



流域学習支援

冬になると川の水が冷たくなり、とれる生きものも少なくなるため、魚とりの支援は落ち着き、教室での出前授業やビオトープ学習がメインとなります。しかし、まだまだ入ります、冬の川へ。5年生の理科「流れる水のはたらき」は、流れる水によって土砂が削られ、運ばれ、堆積する様子について学習します。

写真上は、カーブしている川の外・中・内側での流速の違いとそれぞれの堆積物を観察。写真下は、砂の斜面に溝を掘り、水を流すことによる浸食・運搬・堆積の様子を観察します。実際に川で行うと子どもたちの理解も大変早いようです。



港北 水と緑の学校「展示会」のお知らせ

今年度の活動成果をまとめた展示会を開催します。ぜひご覧ください。

- 2/11 夢交流会2012(慶應大学日吉キャンパス 協生館 藤原洋記念ホール)
- 2/18～26 トレッサ横浜(リョンの小径)
- 2/27～3/1 港北公会堂(1F展示スペース)
- 3月中 地域防災施設 鶴見川流域センター(1Fコミュニティルーム)



綱島サブセンター報告

サブセンターから鶴見川上流を臨んだときに見える、川の上の富士山が、新年からとっても綺麗でした。高水敷には、冬枯れの在来植物の茶色い景色が年々増え、昔ながらの鶴見川が戻っているような、、鶴見川は本当に素敵です♪ サブセンターは昨年、鶴見川からたくさんのめぐみもいただき、工作やイベントを多数おこないました。(写真)

12月のバリケン島定例会では、岸先生より「一年間ありがとうの気持ちをこめ鶴見川の大掃除だ!」との呼びかけで、サブセンター常連の子どもや保護者の方々も大勢でサブセンターから早渕川合流点までクリーンアップをしました。気持ちのいい新年を迎え、サブセンターもさらなる躍進をしていきたいと思います。本年も流域センター共々、どうぞよろしくお願いいたします。

※サブセンターでは不定期で季節ごとのイベントをおこなっています。

1月のテーマは「冬鳥と生きものたちの冬越し」です。



「鶴見川のめぐみで立派なリースが作れたよ」



報道

Watching

タウンニュース／わくわく理科5（新興出版社啓林館）

●タウンニュース（港北区版）12/8（木）号

「コレ何?～街角クエッション～ 第2回『ゲリラ豪雨に新型レーダ』」

鶴見川流域センターの隣にそびえ立つ大きな鉄塔、あれは一体何だろう?と思った方も多いのではないのでしょうか。街角で見かける不思議なものについての紹介記事で、その秘密について、詳しくレポートされています。近年頻発するゲリラ豪雨について、このような形で市民の皆さんに知っていただけるのは、大歓迎です。

●わくわく理科5 〈平成23年度用〉 新興出版社啓林館

流域のバクさんが、なんと教科書に載りました! 先日、川崎市の小学5年生の理科の授業で鶴見川の治水についての出前授業を行ったのですが、終了後に児童の一人が「ここにもバクが載ってるよ!」と教科書を見せに来てくれました。「みんなで見守るバクの川」と題して、流域クリーンアップ作戦を中心に、バクの形の流域地図と一緒に流域の活動が紹介されていました。川崎市内の全ての小学5年生がこれを読むと思うと、感動で体が震えてしまいます。

水マスってなあに? Vol.3

5つのマネジメント その1) 洪水時水マネジメント<洪水に強い流域づくり>

市街化85%の鶴見川流域は河川だけでなく、流域を単位とした総合的な治水対策が進んでいます。河川管理者や下水道管理者だけでなく、都市計画部局も対応。⇒私たちができることも考えてゆきましょう。

流域対策 河川法下水道法によらない対策

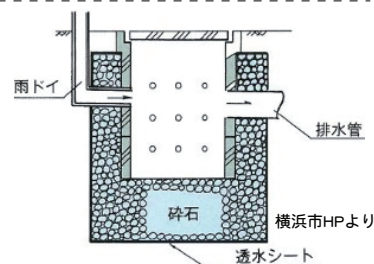
- ★保水機能の確保：降った雨を緑地や田畑にためて、すぐに川に入らないようにする。
⇒緑地や水田を残す。
- ★雨水貯留：雨水を雨水調整地やビルの地下貯留槽などにため、川への流入を遅らせる。
⇒家庭で雨水貯留槽などに水をため、散水や洗車に使用する。大雨の日はお風呂の水を流さず、洗濯をしないことも効果がある。
- ★浸透施設：雨水を地下に浸透させ、直に川に出さない。
⇒各家庭で浸透マスを設置。
- ★低地対策：低地に住む暮らし方の工夫
⇒高床式建築の工夫やハザードマップの活用をする。

河川対策 河川管理者が実施

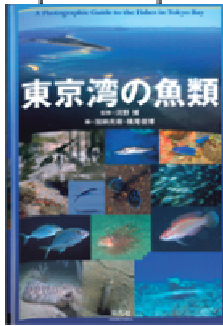
- ★河道整備：河の中を広げる 川底を掘る。安全な土手を作る
- ★遊水地の設置：増水した川の水を遊水地に一時的にため、下流に一気に水が流れないようにする。大規模なものは新横浜多目的遊水地など。

下水道対策

- 下水道管理者が実施
- ★地下貯留管の整備：雨水をためる巨大トンネル



浸透マス：底と壁面の穴から雨水を地中に浸透させることができる。



『東京湾の魚類』

河野博監修・平凡社 3200 円(税別)

東京湾の魚について、本当にこんな図鑑がほしかった。つくづく感動させられる新刊です。写真も、解説も、コラムもとってもいい。現場のことをしっかり知っている筆者が書いていると明瞭にわかるのが何よりいい。鶴見川の魚をマスターしたいナチュラリストは、すこし高価ですが節約して、手に入れるべき。しっかり読めば、次の研究、観察課題もみえてくる。



『鶴見川流域総合治水対策 30 周年記念シンポジウム』

鶴見川流域水協議会:2012 年。

昨年、2 月 20 日、慶應大学日吉キャンパスに 470 人の聴衆をあつめて開催された、鶴見川流域総合治水 30 周年記念シンポジウムの記録冊子です。鶴見川の治水の歴史、総合治水以前と以後の流域の安全と、今後の課題を理解したい市民には必須の資料。学校でも、市民活動の領域でも、町内会や企業職員の間でも、鶴見川流域の水防災・減災課題に関心のある人、必読です。問い合わせは「鶴見川流域センター」へ。さらに増刷され、広く流域に行き渡ること、強く期待します。



『一の谷の風』

2011 年 9 月発行、A4 判、80 ページ(フルカラー)1,000 円(税込)

製作・発行:慶應義塾大学・日吉丸の会/協力:NPO 法人鶴見川流域ネットワーク

1990 年代はじめから続く、慶應義塾大学・日吉丸の会による、慶應義塾大学日吉キャンパス・まむし谷・一の谷の雑木林・水辺再生活動の記録が、一冊の本になりました。会の通信「一の谷の風」を編集したもので、本文は再生作業の現場にいたメンバーによるものです。売上の一部は、日吉の森の保全活動の資金として活用いたします。本書をお手にとっていただき、日吉キャンパスの雑木林・水辺再生活動への継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

入手方法はウェブサイトへ <日吉丸の会>←検索 でご覧下さい。

『鶴見川に和船を浮かべました！～夢見た仲間の50ヶ月の活動軌跡～』 頒布金500円

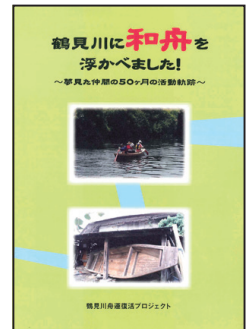
『ふるさとの川に和船を ～鶴見川舟運復活プロジェクト～』(DVD) 頒布金1,000円

かつては年間約 2 万隻の和船が行き交い、舟運で栄えた鶴見川。この水辺にかつての和船を浮かべるもことができないだろうかと長谷川武明氏が地域に呼びかけ、鶴見川舟運復活プロジェクトが発足したのは平成14年。メンバーたちは歴史を紐解き、現存する水害予防船などの調査を手始めとして、和船「たちばな」が出来上がるまでの50ヶ月の活動軌道がまとめたのがこの冊子である。舟運を通して、鶴見川流域の歴史が鮮明に浮き上がってくるのが興味深い。

同時に港北ふるさとテレビ局(代表 伊藤幸晴氏)がその過程を題材に制作したドキュメンタリー映画のDVDが出来上がった。アマチュアとは思えないプロ並みの出来栄で必見！

(冊子、DVD共に港北区地域のチカラ事業の助成を受けて制作。

入手希望の方はTRネット事務局までご連絡を。)



「TRネット通信」定期購読のお願い

「TRネット通信」はnpoTRネットの会誌として、鶴見川流域内の取り組み、市民活動の様子、河川行政の動きなどを発信しています。皆様もnpoTRネットの会員(会誌会員・賛助会員)として「TRネット通信」をご覧いただき、《流域の今》を感じ、流域をひらく新たな取り組みにお力添えください。ご購入ご希望の事務局までご連絡の上、年会費(会誌会員 2,000 円・賛助会員 一口 5,000 円)を指定の口座にお振込み下さい。

振り込み先:横浜銀行綱島支店(普) 1523278

特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク
代表理事 岸 由二

名 称 TRネット通信 第58号
発行日 2012年1月18日
発 行 特定非営利活動法人
鶴見川流域ネットワーク
代表理事 岸 由二
連絡先 npoTRネット事務局
TEL 045-546-4337 FAX 045-546-4344
e-mail office@tr-net.gr.jp
〒223-0053 横浜市港北区綱島西
2-5-10 コーリン綱島4階
ホームページ http://www.tr-net.gr.jp